



和かっぱ

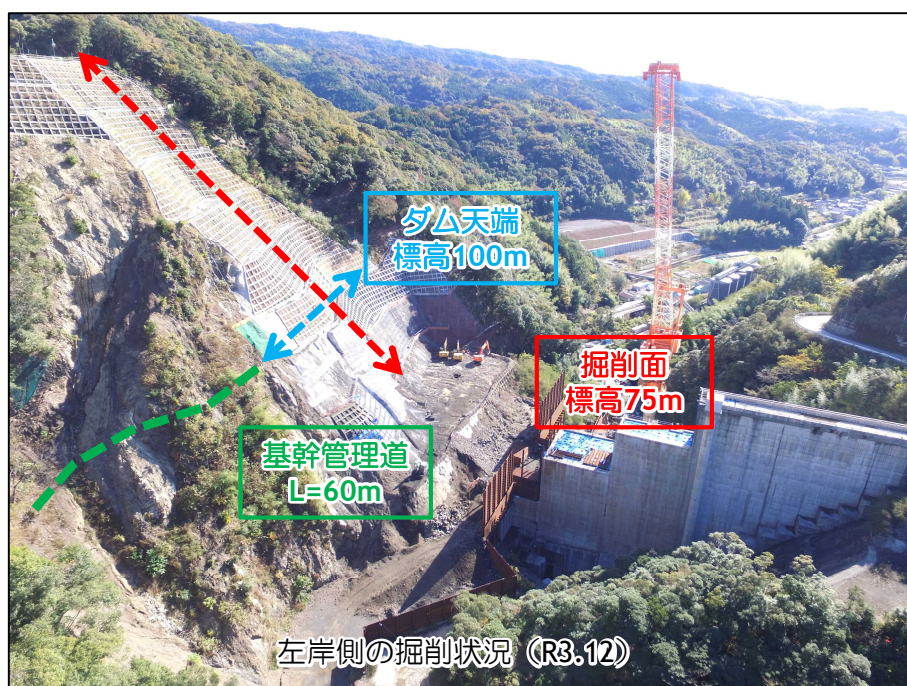
今年も残すところ、あとわずかとなりました。
年の瀬は何かと慌ただしい時期となりますが、最近冷え込んできているのでお体にはお気を付けください。
来年もダム完成に向けて頑張りますので、引き続きよろしくお願いします。



和食ダム 現在の様子

これまでに引き続き左岸側の再掘削を進めており、**11月末時点**において**標高75m**まで完了しました。

また、写真左の**緑破線部**にある左岸側の基幹管理道整備の工事を令和3年12月9日～令和4年6月16日の工期で実施します。急傾斜地での難しい工事ですが、写真右のように上部のアンカーにワイヤーで固定し、特殊なバックホウで斜面を自走して掘削作業を行います。土砂運搬等で村道を通行する必要がありますので、その際はご協力をお願いします。

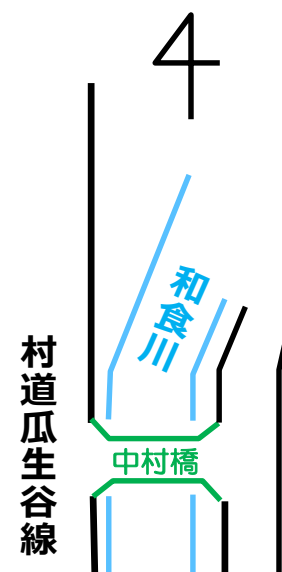


【お知らせ】中村橋の架替工事を行います

令和3年12月7日～令和4年10月22日までの工期で中村橋の架替工事を行います。

川の両岸で通行を切り替えながら対応していきますが、中村橋より西側の村道瓜生谷線を掘削する際などは時間規制による通行止とする場合があります。お急ぎの場合は奥出ダムを迂回するルートも利用可能です。

なお、通行規制を行う場合は、規制の約1週間前までに瓜生谷地区コミュニティセンター掲示板や規制区間前後に看板を設置してお知らせしますので、何卒ご協力をお願いします。





自転車でダム巡り！

11月13日（土）、土佐くろしお鉄道㈱主催で「サイクルプラストレイン」というイベントが開催され、和食ダムに25名の見学者が自転車でお越しになりました。難所である和食ダムの険しい激坂を、サイクリストたちの自慢の健脚でぐんぐん登っていく様子には圧倒されました。現場説明では、建設中のダムの珍しさやタワークレーンの大きさに驚きの声が挙がっていました。

和食ダムは、右岸側の展望台より自由に見学できますので、HP上の注意事項をご確認のうえお気軽にお越し下さい。

(<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/wajikidam/2016060600188.html>)



和食ダムで撮影した集合写真

年末年始ダムカード配布休止のお知らせ

令和3年12月29日（水）～令和4年1月3日（月）の期間は、和食ダム建設事務所を閉所します。

期間中は、ダムカードの配布もお休みしますのでご了承ください。

※郵送によるダムカード配布は行っておりません。



芸西村の史跡紹介【第31弾】

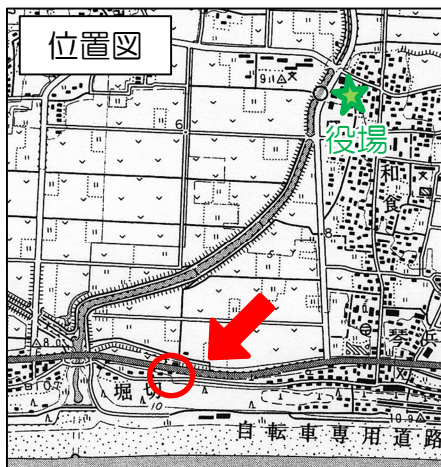
えびすや さんとうか 《恵比須屋と山頭火》

「漂泊の詩人」として知られる種田山頭火は、昭和14年（1939）11月9日、四国遍路の道中、堀切地区の恵比須屋に一泊していました。

山頭火の「四国遍路日記」には、和食に宿泊した様子を「雨の中を三里あまり歩いて和食、町はづれの松林の中のえびす屋に落ち着く、ほんにいい宿であった。きれいで親切で、そしてまじめで、夕方はだしで出かけて、一杯ひっかけて、何といううまさ、御苦労 々々々」と書き記しています。

山頭火は、明治15年（1882）山口県の大地主の家に生まれ、早稲田大学を病気で中退、酒造業で失敗、その後仏門に入り、^{おぎわらせいせんすい}荻原井泉水に自由律の俳句を学びました。孤高漂泊ひたすら歩き続けた人生であったようです。

山頭火の遍路日記は、歩いて人に接した自然体の描写が人を引き付けます。写真左の石碑には「高知へ 日に日に 近うなる 松原つづく」と高知へ行く旅路の情景が記しています。もし、四国遍路に行かれる際には、「四国遍路日記」を読んで、山頭火の心情に触れながら旅してみたいはいかがでしょうか。



出典：芸西村教育委員会 芸西歴史散歩（平成17年）より



四国遍路日記を記した石碑